

CopyToDVD

ユーザース ガイド



Version 4

目次

はじめに.....	4
使い始める前の確認事項.....	4
CopyToDVD 4 の Windows® への統合.....	5
シエル統合に関する質問.....	5
CopyToDVD への 2 通りのアプローチ.....	5
CopyToDVD スターター.....	6
CopyToDVD マネージャ.....	7
CopyToDVD スターターで行える作業.....	8
データ.....	8
データ CD/ DVD/Blu-Ray の作成.....	8
バックアップのスケジュール.....	8
コピー.....	9
音楽/データ/ゲームのコピー.....	9
メイン メニュー.....	10
DVD ビデオのコピー.....	11
ビデオ/画像.....	12
DVD ビデオの書き込み.....	12
DVD ビデオのコピー.....	12
フォト DVD の作成.....	12
オーディオ.....	13
オーディオ CD の作成.....	13
音楽ファイルの再生.....	13
音楽ファイルの管理.....	13
ツール.....	13
メディアの消去.....	13
設定.....	14
CopyToDVD マネージャの基本:.....	14
メニュー ガイド.....	14
プロジェクト:.....	15
オーディオ CD の作成.....	16
データ CD/DVD/Blu-Ray の作成.....	16
DVD ビデオの書き込み.....	16
Blu-ray ビデオの書き込み.....	16
インターフェイスの設定.....	16
ISO ファイルの作成.....	19
VSO Inspector: 書き込みの品質確認.....	20
CopyToDVD の設定.....	21

CopyToDVD スターター.....	21
メニューの動作.....	21
サードパーティ製アプリケーション.....	22
CopyToDVD マネージャ.....	22
[全般] タブ.....	22
[表示] タブ.....	23
[ボリューム ラベル] タブ.....	23
[ファイル システム] タブ.....	24
[バージョン情報] タブ.....	24
[書換型メディア] タブ.....	25
[書き込みドライブ] タブ.....	25
[マルチセッション] タブ.....	26
[言語] タブ.....	27
[オーディオ] タブ.....	27
[書き込みドライブ] タブ.....	27
[メディア情報] タブ.....	28
[サウンド イベント] タブ.....	28
よく寄せられる質問.....	29
使用するメディアの種類はどのくらい重要でしょうか。.....	29
互換性.....	29
二層式メディアと CopyToDVD.....	30
Blu-ray.....	30
テクニカル サポート.....	31
トラブルシューティング.....	31
著作権.....	32

はじめに

CopyToDVD は、データ、音楽、ゲーム、写真、ビデオ ファイルなどを CD、DVD、Blu-Ray に書き込むことが可能な、非常にシンプルで使いやすいソフトウェアです。CopyToDVD は最新のテクノロジーを使って、非常に優れたライティング ソフトとしての高速、高品質なパフォーマンスを実現しながら、複雑な操作なしでの書き込み作業を可能にしています。CopyToDVD のご使用をお楽しみください。開発元 VSO Software 社および日本総代理店ピーアンドエー・インターナショナルでは、皆様からのコメント、ご質問、フィードバックをお待ちしております。

使い始める前の確認事項

可能な限り最良の結果を得るために、次の事項を推奨します：

- 新しいコンピュータとライティング ドライブの使用
- 整備されたハードウェア構成
- 高品質の DVD/CD メディアの使用
- 書き込み時にデータの読み込みに問題が生じる場合は速度の見直し
- 最新のファームウェアの使用
- ウィルスなどに感染していないことの確認
- ソフトウェア、DVD/CD メディア、ライティング ドライブの互換性の確認
- 最新バージョンのソフトウェアの使用

これらの基本事項を押さえておけば、申し分のない結果を得ることができるでしょう。

CopyToDVD 4 の Windows® への統合

右クリックするだけの書き込み処理

CopyToDVD がインストールされると、Windows エクスプローラなどのファイル ブラウザから直接アクセスすることができ、アプリケーションを起動せずにすばやくファイルやフォルダを書き込むことができます。書き込むファイルやフォルダを右クリックして、ショートカット メニューから [CopyToDVD] を選択するだけです。必要に応じて、Ctrl キーを押しながら複数のファイルやフォルダを選択することができます。基本的なオプションを設定していれば、書き込み処理が即座に始まります。

シェル統合機能を使ってバックアップできるファイル

このシンプルな右クリック方式を使って、どのようなものでもバックアップすることができます。CopyToDVD が書き込むファイルを検出して、書き込み方式を問い合わせます：



オーディオ ファイルや DVD ビデオの例

詳細に関しては、「書き込み処理」セクションを参照してください。

シェル統合に関する質問

Q: [CopyToDVD] コマンドと [CopyToDVD ファイル リスト] コマンドの違いは何ですか。

A: [CopyToDVD] コマンドは選択したデータをメディアに即座に書き込みます。[CopyToDVD ファイル リスト] コマンドは選択したデータをファイル リストに配置します。ファイル リストは、CopyToDVD マネージャで新しいプロジェクトを作成するときに読み込まれます。ファイル リストは、コンピュータ上のさまざまな場所にある多くのファイルを選択する必要があるときに便利です。

CopyToDVD への 2 通りのアプローチ

CopyToDVD は、スターターとマネージャの 2 つのパーツから構成されています。マネージャは、スターターから独立して、書き込みプロジェクトの編集を担当します。スターターはマネージャへの入り口となります。スターターには、CopyToDVD と関連して使うことのできる他のアプリケーションへのリンクがあります。

例：DVD ビデオをバックアップする場合、CopyToDVD はハードディスク上に置かれたビデオ ファイルを

書き込むことができますが、リッピングやハードディスク上のファイルを圧縮する機能はありません。作業を簡単にするために、コンピュータにリッピングソフトウェアがインストールされている場合は、CopyToDVD スターターを開いて「ビデオ/画像」をクリックして、「DVD ビデオのコピー」をクリックします。CopyToDVD は、前半の作業にはコンピュータにインストールされている他の製品のいずれかを使用することを推奨して、DVD にビデオ ファイルを書き込むことによって後半の作業を行います。

書き込み処理に直接移行するには、マネージャを通して CopyToDVD を開くとすばやく移行できます。CopyToDVD を通して行う複数の作業がある場合は、スターターを開くと必要なすべての作業が表示されます。

CopyToDVD スターター



CopyToDVD スターターは、次のような画面が表示されます：



図 1

デスクトップの「CopyToDVD」アイコン

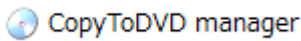


または、クイック起動バーの「CopyToDVD」アイコン（インストール時のオプション）で CopyToDVD スターターを開くことができます。



[スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → 「vso」 → 「CopyToDVD」 で開くこともできます。

CopyToDVD マネージャ



CopyToDVD マネージャは、次のような画面が表示されます：

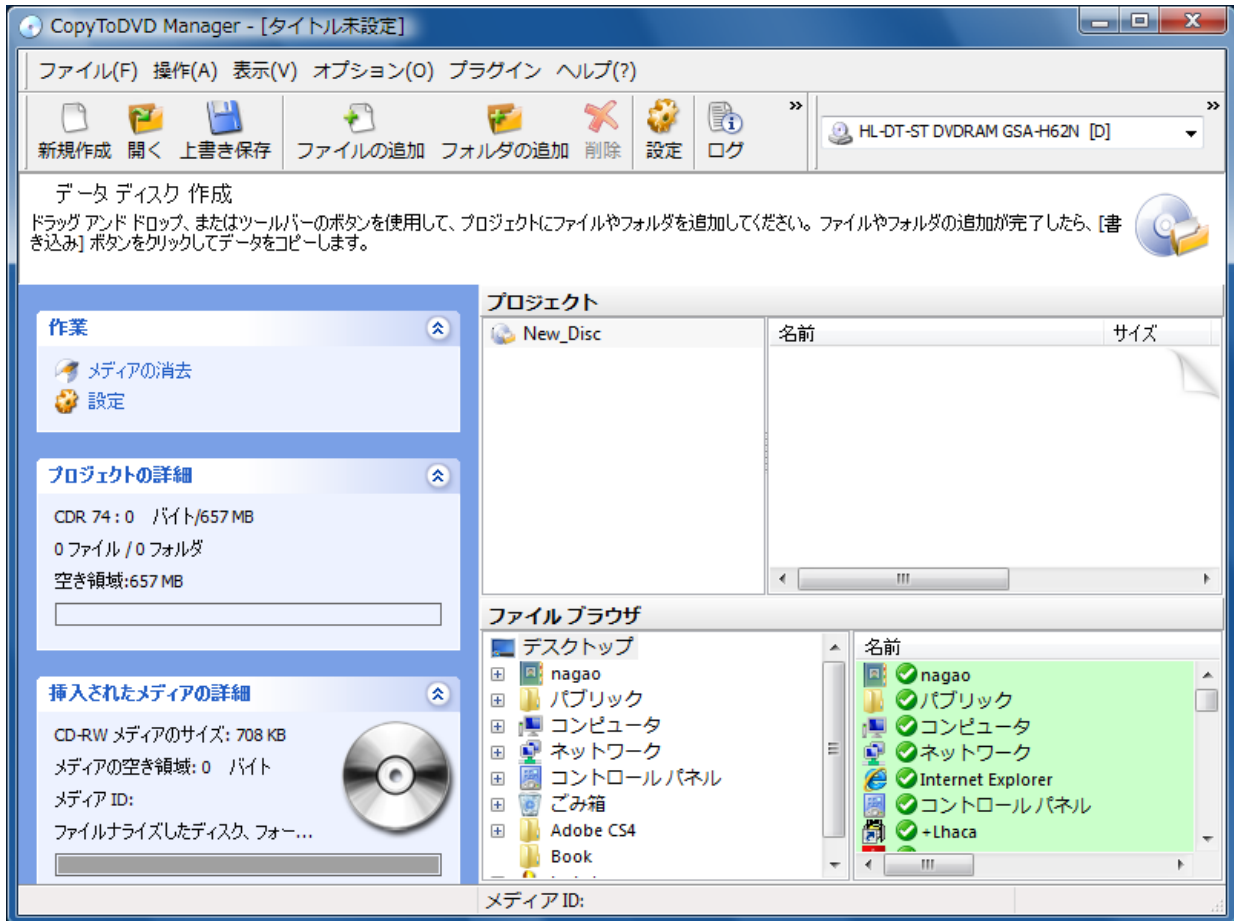


図 2

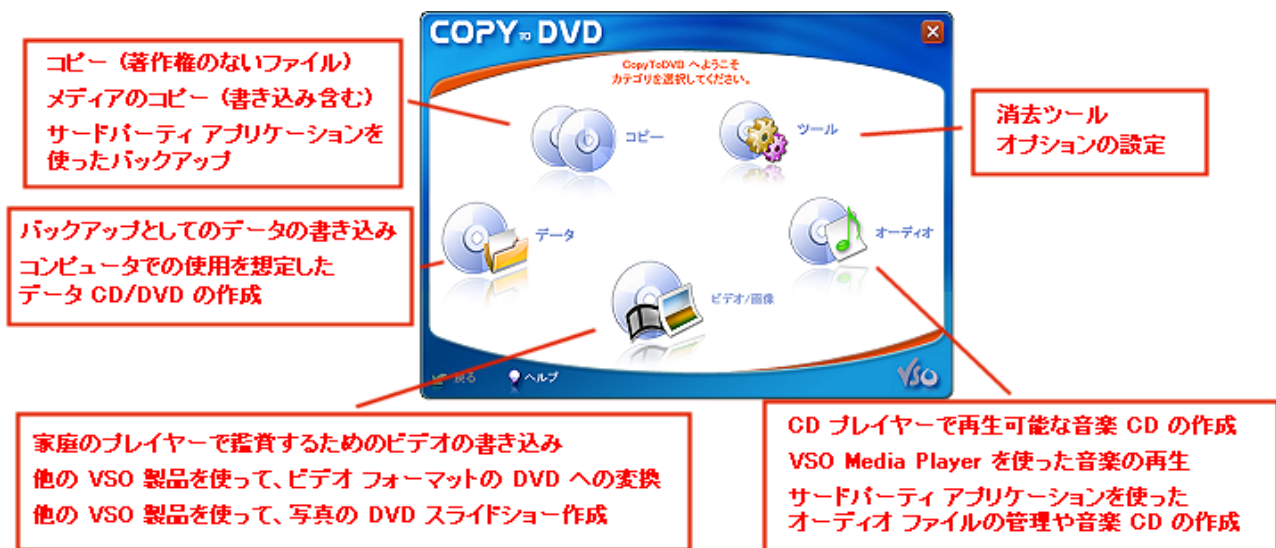
[スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → 「vso」 → 「CopyToDVD manager」 で、マネージャを直接開くことができます。スターターからマネージャを開くこともできます。実行する作業（例：データ）をクリックして、「データ CD/DVD の作成」をクリックするだけです。

マネージャを開いたら、実行するプロジェクトの種類を選ぶ必要があります：



CopyToDVD スターターで行える作業

どのように作業を始めたらいいかわからない場合は、スターターを通して CopyToDVD を開きます。



データ

データ CD/ DVD/Blu-Ray の作成

(マネージャを開きます) 15 ページの「データ CD/DVD の作成」参照。

バックアップのスケジュール

CopyToDVD で、ファイルやフォルダのバックアップを作成する日時を設定することができます。メイン画面で「データ」をクリックして、「バックアップのスケジュール」を選びます。

[追加] をクリックして、作成するタスクに名前を付けることが可能です。その後でバックアップするファイルやフォル

タを選び、タスクの頻度（日単位、週単位など）を設定します。

コピー

音楽/データ/ゲームのコピー

(Blindwrite の体験版を開きます)



図 3

左側に「コピー」、「読み込み」、「書き込み」のタスクがあります。各タスクが異なった機能を実行します。選択したタスクの機能が情報エリア (1) に表示されます。



コピー

正確なコピーを作成します。コンピュータのドライブが 1 台でもこのタスクを実行することができます。書き込み処理の前にコピーが完了したら、メディアの切り替えの指示が表示されます。この場合、メディアのコピーがハードディスク上に格納されて、新しい空のディスクに書き込まれます。

Blindwrite によってハードディスクにコピーされたファイルは、Blindwrite イメージとして格納されます。このイメージはサイズによっては複数のファイルのセットになります。既定では、マイドキュメントの「Blindwrite」フォルダに格納され、コピーされたファイルには .B01、.B00、.B6I などの拡張子が付きます。これらのイメージファイルは、Blindwrite (書き込み用) や Daemon Tools (エミュレーション) でのみ使うことができます。

コピーする CD や DVD が入っているドライブに [入力] (3) を選択して、コンテンツを書き込むための空のメディア

が入るライティング ドライブに [出力] (4) を選択します。[入力] と [出力] に同じドライブを選択することができます。コピー処理が完了した後で、ドライブに空のメディアを入れる必要があります。

画面の右下にある [コピー] ボタンが使用可能になります。このボタンをクリックすると、コピー処理が始まります。処理にかかる時間は、元のメディアのサイズとライティング ドライブやメディアの書き込み可能速度によって異なります。



ディスクのイメージをハードディスクに展開することが可能です。展開したイメージを仮想ドライブとしてエミュレートしたり、後でディスクに書き込みます。

読み込むディスクのある CD/DVD ドライブを [入力] に選択して、メディアのイメージが格納されるハードディスク上の領域を [出力] に選択します。

画面の右下にある [読み込み] ボタンが使用可能になります。処理にかかる時間は、元のメディアのサイズによって異なります。



ハードディスク上のイメージ ファイル (Blindwrite イメージ、ISO、CloneCD ファイルなど) を CD または DVD に書き込むことを可能にします。

ハードディスク上の CD/DVD イメージ ファイルを [入力] に選択して、このイメージの書き込みに使用するライティング ドライブを [出力] に選択します。

[書き込み] ボタンをクリックします。処理にかかる時間は、イメージ ファイルのサイズとライティング ドライブやメディアの書き込み可能速度によって異なります。

*Blindwrite プロファイル

プロファイルの用途が分からない場合は、「自動」を選択します。バージョンによっては、「通常」や「標準」となっていることもあります。プロファイルの詳細に関しては、

http://www.portmac.com/modules.php?name=BlindWrite6_Guide&file=Profiles を参照するか (英語)、テクニカルサポートまでご連絡ください。

メイン メニュー

プログラム画面の上部にあるメイン メニューには、Blindwrite に関する追加のオプションがあります。

ファイル

終了 プログラムを閉じます。

タスク

コピー 前述の [コピー] 処理に画面を切り替えます。

読み込み 前述の [読み込み] 処理に画面を切り替えます。

書き込み 前述の [書き込み] 処理に画面を切り替えます。

オプション

設定	全般	インターネットで更新を確認する頻度を設定し、処理完了時のイメージファイルの処置と書換型メディアの消去方法を選びます。
	メディア統計	メディア統計の VSO への送信についての情報とオプションです。
	テーマ	テーマ (インターフェイスの色とテキスト) を変更します。
	言語	プログラムで使用する言語を選択します。
	サウンド	音声メッセージでの確認を有効にするオプションです。

ヘルプ

トピックの検索 Blindwrite のクイックガイドを開きます。

ログを開く Blindwrite のログ ファイルをサポート目的で別のウィンドウに開きます。

Check for Update Blindwrite のアップデート情報を確認します。

バージョン情報 Blindwrite のバージョンと著作権に関する情報です。

DVD ビデオのコピー

(サードパーティ製品を推奨します)

CopyToDVD は、DVD ビデオ ファイルをコピーすることができませんが書き込むことはできるので、CopyToDVD スターターを通して方法を見出したり、そのような操作を行う場合にプログラムを推奨されます。

DVD コピー ソフトウェアがインストールされていると、[DVD ビデオのコピー] ダイアログ ボックスに一覧表示されます。

このリストに表示されるアプリケーションがない場合は、[ダウンロード ページ] をクリックすると推奨プログラムのページを開きます。

DVD コピー ソフトウェアがコンピュータにインストールされているのに一覧に表示されていない場合は、当該ソフトウェアが既定の場所にインストールされていないために CopyToDVD が見つけられなかった可能性があります。ソフトウェアを再度ダウンロードして既定の場所にインストールするか、推奨しませんがレジストリ エントリの「Command」キーを編集して追加することができます。

レジストリにプログラムを追加する方法:

警告: コンピュータのレジストリ内の項目を変更することによって、通常の機能性を損なうことがあります。レジストリについてよく分からない場合は、熟知している人に作業を代行してもらうことをお勧めします。

以下の例での「xxxx」は、コピー ソフトウェアの名前です:

次のレジストリ エントリの下に「Command」キーを編集する必要があります。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥VSO¥Starter¥3rdParty¥ExtractDVDVideo¥xxxx]
```

ここにある「Command」キーの値を「C:\Program Files\xxxx\xxxx.exe」から実行ファイルの実際のパスに変更します。

ビデオ/画像

DVD ビデオの書き込み

(マネージャを開きます) 15 ページの「DVD ビデオを書き込む」を参照してください。

DVD ビデオのコピー

(サードパーティ製品を推奨します)

CopyToDVD はビデオ ファイルを書き込むことはできますがコピーはできませんので、コピーする場合はスターターを通して方法を見つけたり、推奨プログラムを起動します。詳細に関しては、「DVD ビデオのコピー」セクションを参照してください。

フォト DVD の作成

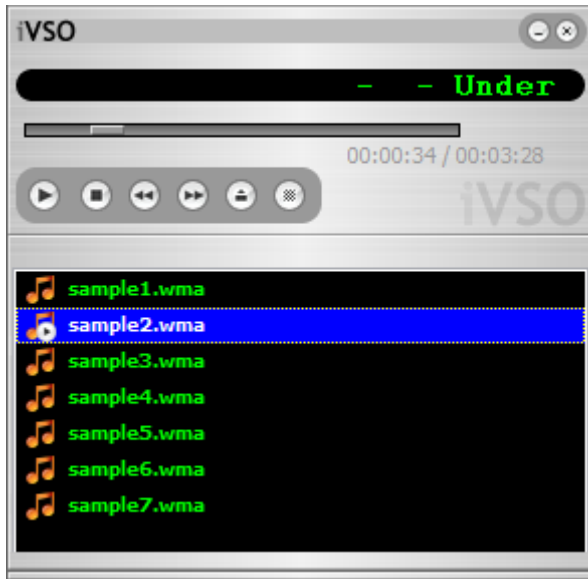
(他の VSO 製品、PhotoDVD を使用します)

写真を家庭用 DVD プレイヤーで鑑賞するときに、このオプションを選びます。このオプションによって、音楽やその他の効果を加えた写真のスライドショーを作成することが可能です。写真をバックアップや交換目的で書き込む場合は、「データ CD/DVD」を作成します。

PhotoDVD がインストールされていないと、「補助ツールがインストールされていません。ダウンロードしますか?」という確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、PhotoDVD のダウンロード ページを開きます。

PhotoDVD がコンピュータにインストールされていれば、自動的に開きます。PhotoDVD のライセンス キーがない場合は、試用版としての使用になりますので、ご注意ください。

オーディオ



オーディオ CD の作成

(マネージャを開きます) 15 ページの「オーディオ CD を作成する」を参照してください。

音楽ファイルの再生

VSO Media Player という内蔵のプレイヤー ソフトを開きます。

タイトル バーを右クリックすると、左の図 5 のようなオプション メニューを表示します。

図 5

[スキンの変更] は、VSO Media Player の色やスタイルなどの外観を変更するオプションです。

[バージョン情報] は、バージョンや著作権に関する情報を表示します。

VSO Media Player は、次のファイル フォーマットに対応しています：

MP3 (*MP3)、Ogg Vorbis (*.ogg)、Windows Media オーディオ (*.wma)、Monkey Audio (*.ape)、Muse Pack (*.mpc)

音楽ファイルの管理

(サードパーティ製品を推奨します)

Fengtao Audio DVD Creator や Audio Grail などの音楽管理ソフトウェアがインストールされていると、一覧に表示されます。

サードパーティ製品の CopyToDVD での使用に関する詳細は、「DVD ビデオのコピー」セクションを参照してください。音楽管理ソフトウェアも同じ動作になります。

ツール

メディアの消去

[メディアの消去] (CopyToDVD マネージャの [アクション] メニューにもあります) をクリックすると、書換型メディア (CD-RW、DVD-RW、DVD+RW) を消去することができます。

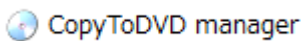
消去するメディアの入ったライティング ドライブを選択して、消去に使用するモードを選択します：高速ですが完全ではない「クイック消去」方式と、長い時間のかかる「完全消去」方式があります。[メディア消去] をクリックする

と、処理を開始します。

設定

(「CopyToDVD の設定」を参照してください)

CopyToDVD マネージャの基本:



メニュー ガイド

CopyToDVD マネージャには、次のようなメニューが表示されます:

[ファイル] メニュー

プロジェクト:	新規作成	新しい空白のプロジェクトを開きます。
	開く	ハードディスクなどに保存した既存のプロジェクトを開きます。
	上書き保存	プロジェクトを保存します。
	名前を付けて保存	プロジェクトを新しい名前で保存します。
ファイルの追加	プロジェクトに追加するファイルを選択するためのダイアログ ボックスを開きます。	
フォルダの追加	プロジェクトに追加するフォルダを選択するためのダイアログ ボックスを開きます。	
C:*.*	最後に作成したプロジェクトを直接開くことができます。	
終了	プログラムを終了して閉じます。	

[操作] メニュー

書き込み	現在のプロジェクトをディスクに書き込みます。	
メディアの消去	メディアを消去する方法を選択するダイアログ ボックスを開きます。	
ISO/CUE の書き込み	このコマンドで ISO イメージ (.ISO) やキューシート (.CUE) をメディアに書き込むことができます。	
ファイル リスト:	インポート	[ファイル リストを使う] オプション ([オプション] メニュー参照) が有効のときに、このコマンドを使ってファイル リストを手動でインポートすることができます。
	削除	ファイル リストをクリアします。

[表示] メニュー

ウィザード スタイル	このオプションをチェックすると、CopyToDVD マネージャがウィザードとして表示されます。上部のバーが現在のプロジェクトに関する簡単な情報を表示します。	
ファイル ブラウザ	このオプションをチェックすると、システムのフォルダー一覧を表示します。	
アイコンの整列	ウィンドウ内でのファイルとフォルダの表示形式を表示します。	

[オプション] メニュー

書き込み時にマネージャ画面を閉じる	このオプションをチェックすると、プロジェクトを書き込むときにマネージャを自動的に閉じます。	
--------------------------	---	--

ファイル リストを使う	プロジェクトが保存されていないと、保存確認のメッセージが表示されます。 このオプションをチェックすると、プロジェクトの作成時にファイル リストが自動的にインポートされます。エクスプローラを通してファイル リストにコピーされたファイルがプロジェクトに表示されます。
ウィンドウの位置を記憶	このオプションをチェックすると、CopyToDVD マネージャの配置が保存されて、ウィンドウが毎回同じ配置とサイズで表示されます。
終了時にプロジェクトの保存を確認しない	終了する前にプロジェクトを保存するかどうかの確認メッセージを無効にします。
テーマ CopyToDVD の設定	CopyToDVD マネージャの配色とテーマを変更します。 [CopyToDVD の設定] ダイアログ ボックスを開きます。詳細に関しては、次のセクションを参照してください。
CopyToDVD のログ	CopyToDVD の過去の動作のログ（詳細）を表示します。

[プラグイン] メニュー

VSOShow	このオプションをチェックすると、画像をディスクに書き込むときに、画像を（スライドショー形式で）表示することのできる VSO Show をメディアに書き込みます。
VSOMediaPlayer	このオプションをチェックすると、オーディオ ファイルをメディアに書き込むときに、オーディオ ファイルの再生に使うことのできる VSO Media Player を同時に書き込みます。

[ヘルプ] メニュー

オンライン ヘルプ	クイック チュートリアルを開きます。
更新の確認	CopyToDVD の更新情報を確認します。
CopyToDVD ホームページ	CopyToDVD ホームページへのリンクです。
バージョン情報	著作権やバージョンの情報を表示します。

プロジェクト:

各プロジェクトとその違い

さまざまな種類のプロジェクトを書き込むのにも色々な方法があります。たとえば、MP3 ファイルをデータ CD として書き込むと、通常の CD プレイヤーでは再生できません。作成することのできる各プロジェクトの違いについて、以下で説明します:



オーディオ CD

オーディオ CD の作成

オーディオ CD は、どの CD プレイヤーでも再生でき、オーディオ ファイルのフォーマットが CopyToDVD によって自動的にオーディオ CD に変換されます。



データディスク

データ CD/DVD/Blu-Ray の作成

あらゆる種類のファイルを書き込むのに使用できます。このオプションは、重要なファイルや文書のバックアップを行う場合にももっとも使用されます。これらのプロジェクトのいずれかを作成するときに、確認のメッセージが表示されることがあります：

複数の画像ファイルが追加されました。自動再生のスライドショーをプロジェクトに追加しますか？

[はい] を選ぶと、画像ファイルとともに、画像を表示することが可能な **VSO Show** がメディアに書き込まれます。VSO Show は、コンピュータ上で動作するフォト ビューアです。画像をスライドショーとして表示するとともに、目的の画像を簡単に表示することが可能です。

オーディオ ファイルをプロジェクトに追加した場合は、プロジェクトに自動の **Media Player** を追加するかどうか確認するメッセージも表示されます。これによって、VSO Media Player をプロジェクトに追加して、ミュージック プレイヤーのないコンピュータでも簡単にメディア内のオーディオ ファイルを再生することができるようになります。



DVD ビデオ

DVD ビデオの書き込み

家庭用 DVD プレイヤーで読み込むことのできる DVD ビデオを作成します。DVD にムービーを書き込む場合は、このオプションを選びます。VIDEO_TS フォルダとファイル (VOB、IFO) が正しい DVD ファイル システムの構造で揃っている必要があります。



Blu-ray ビデオ

Blu-ray ビデオの書き込み

Blu-ray プレイヤーで読み込むことのできる Blu-ray ビデオを作製します。Blu-ray にムービーを書き込む場合は、このオプションを選びます。予め Blu-ray ビデオとして再生可能なファイルとフォルダが揃っている必要があります。

インターフェイスの設定

CopyToDVD は、使い勝手をよくするために設定可能なインターフェイスを備えています。インターフェイスを設定するには、次のような方法があります：

ウィザード スタイルとファイル ブラウザの 2 つの追加ウィンドウを開いたり閉じたりすることができます。これらのウィンドウを開くには、[表示] メニューを使います。

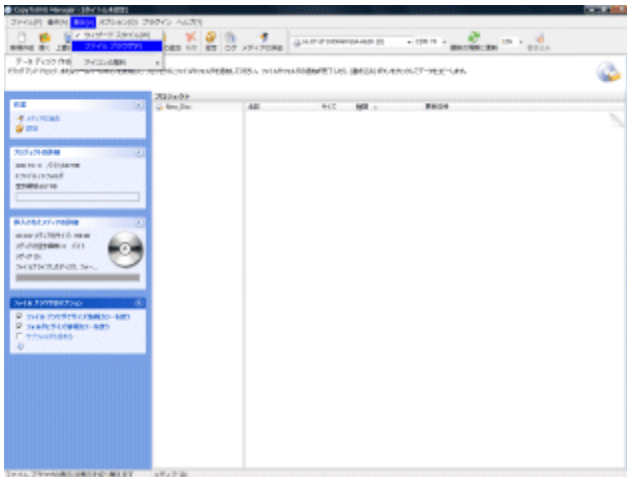


図 6

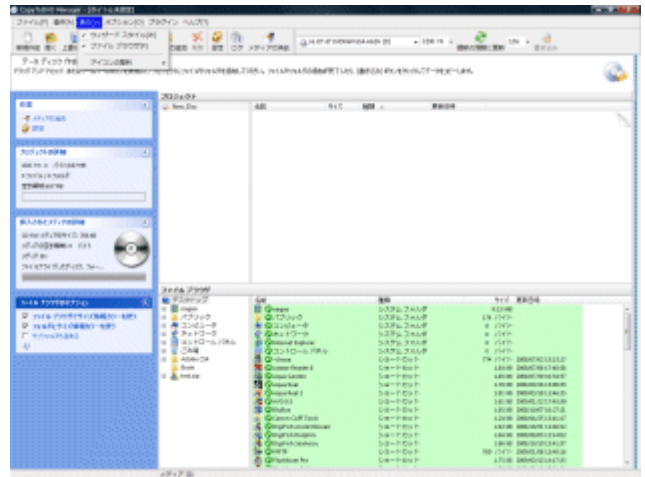


図 7

ファイル ブラウザ ウィンドウを CopyToDVD のメイン ウィンドウから切り離すこともできます。切り離すには、「ファイル ブラウザ」の文字の部分にマウス ポインタを合わせて、CopyToDVD マネージャのインターフェイスから外側にドラッグします。ファイル ブラウザは、プロジェクトに追加するファイルを探すときに他のウィンドウを開きたくないときに便利な、ファイルをプロジェクトにドラッグ アンド ドロップするためのツールです。

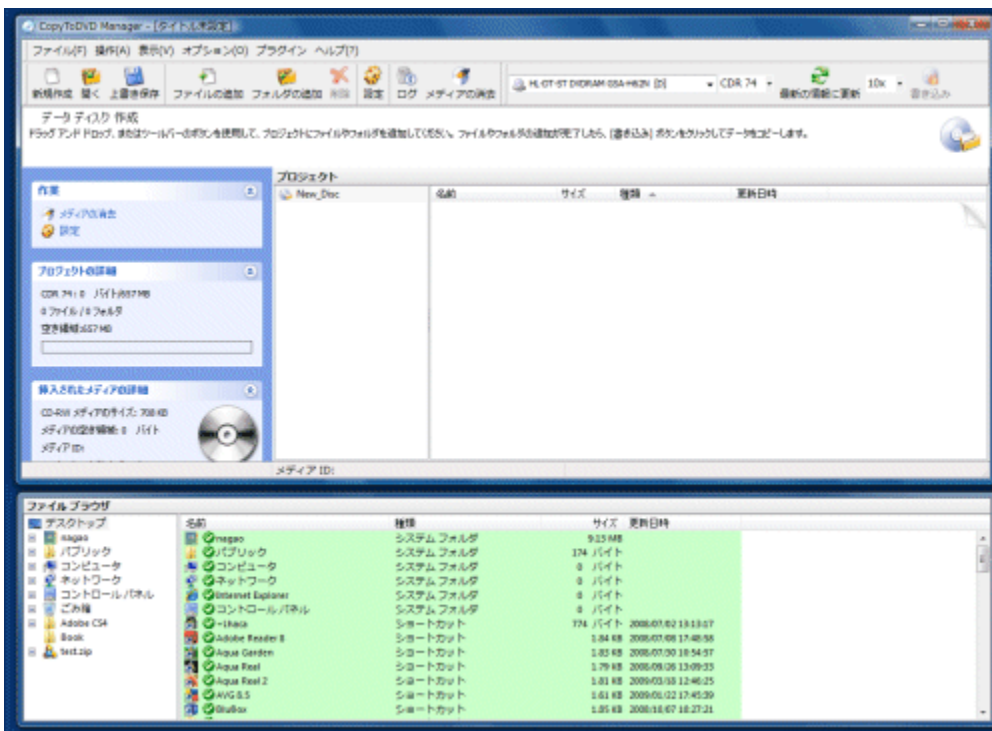


図 8

ウィンドウ ペインの境界線にマウス ポインタを合わせて、矢印の形に変わったらバーを移動することによって、ウィンドウ内の区切りの位置を変更することができます。



図 9

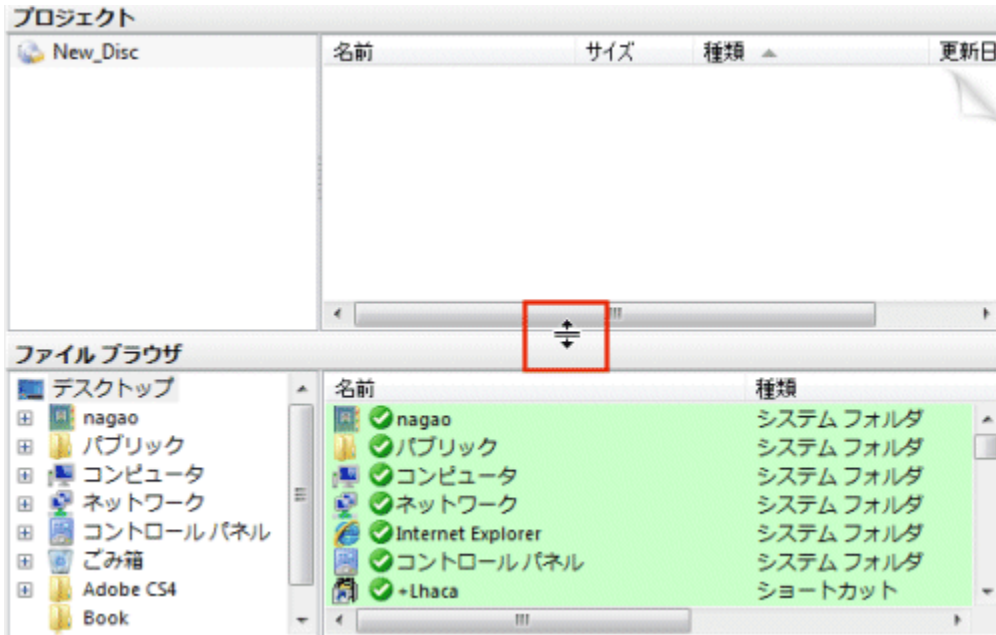


図 10

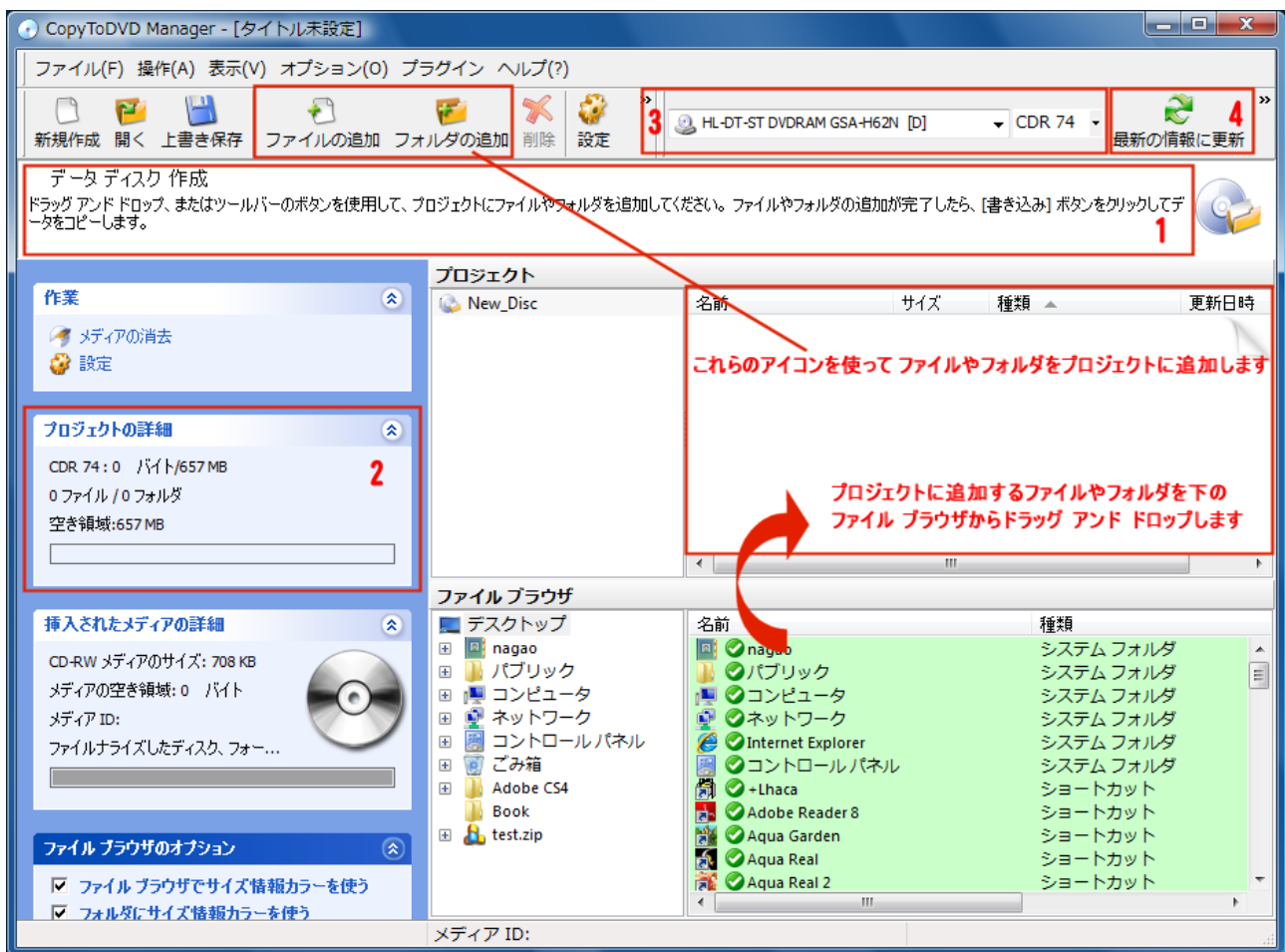


図 11

- 1 このウィンドウで行う作業を説明しています。
- 2 プロジェクトの詳細を表示します：追加したファイルやフォルダの数、VSO Show や VSO Media Player の追加、メディアの使用領域と空き領域のサイズ
- 3 選択したライティング ドライブを表示します。下向きの矢印をクリックして、他のドライブを選択することができます。ドライブに入っているメディアの種類と選択した書き込み速度も併せて表示されます。
- 4 [最新の情報に更新] ボタンです。上記 3 の情報を更新します。たとえば、ライティング ドライブを変更しても一覧に表示されない場合などに、このボタンを押します。

ISO ファイルの作成

CopyToDVD で簡単に ISO ファイルを作成することができます：[CopyToDVD の設定] ダイアログ ボックスの [書き込みエンジン] タブで [ドライブ リストに「ISO イメージ ファイル」を追加する] にチェックを入れます。ISO ファイルを作成すると、プロジェクトのイメージを作成します。個々のファイルやフォルダではなく、1 つの単位として見なされます。このファイルを後で CD や DVD に書き込むことができます。

CopyToDVD マネージャを使用するときやシェルから書き込むときに ISO イメージのオプションが表示されます：

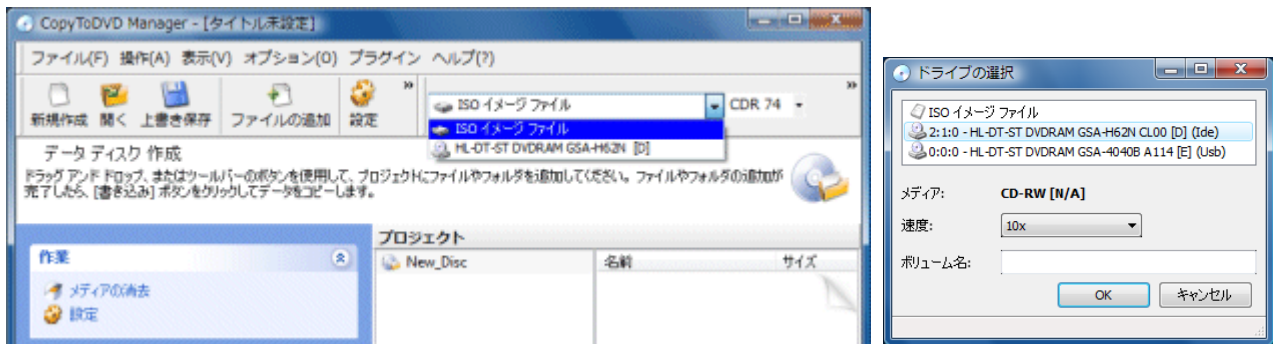


図 12

VSO Inspector: 書き込みの品質確認

CopyToDVD には、書き込みが完了した後でディスクのエラー スキャンを実行するオプションがあります。[CopyToDVD の設定] ダイアログ ボックスの [全般] タブで [VSO Inspector でメディアを検証する] にチェックを入れます。

※ VSO Inspector がインストールされていない場合は、このオプションは利用できません。

インストールを行うには <http://www.vso-software.fr/products/inspector/inspector.php> より VSO Inspector をダウンロードして、インストールを行ってください。

書き込みが完了し次第、VSO Inspector が開いて、ディスクのスキャンを開始します。

[全般] タブの [メディアを取り出す] オプションを選択している場合は、ドライブにメディアを戻してスキャンを開始させる必要があることがあります。

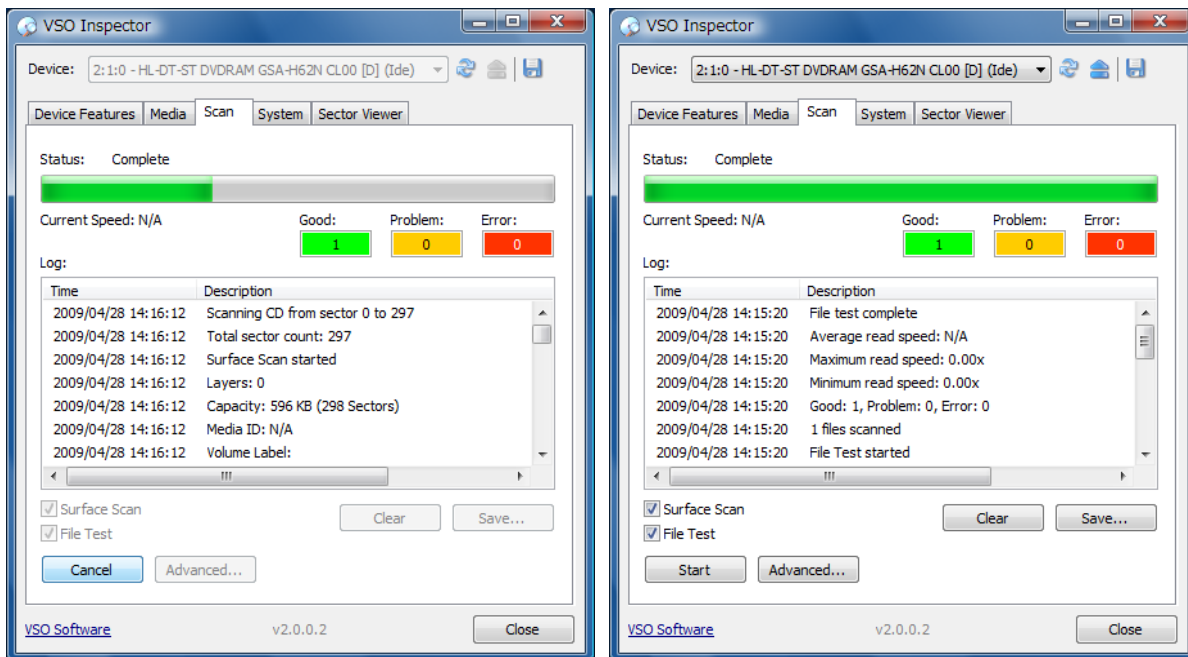


図 13

処理が完了すると、ログ ファイルに「ファイル テスト完了」と表示され、[状態] の隣に「完了」と表示されます。ディスクのいずれかのセクタにエラーや問題がある場合、その場所を見分けることができます。

VSO Inspector のその他のタブは、ドライブのファームウェア更新、ディスクのフォーマット確認など、便利な機能を備えています。

CopyToDVD の設定

このセクションでは、CopyToDVD の数多くの設定について説明しています。ここでソフトウェアをニーズに合わせてカスタマイズする方法を習得することができます。CopyToDVD の設定は、CopyToDVD マネージャ、または [スタート] メニューの CopyToDVD グループから開くことができます。このセクションでは、CopyToDVD スターターの「ツール」から「設定」を選んで開いた場合の各タブに分かれています：

CopyToDVD スターター

メニューの動作

サウンドを無効にする

スターターに関連付けられているサウンドを無効にします。

メイン ページに戻る

タスクが起動されたら、CopyToDVD スターターのメイン画面に戻ります。

CopyToDVD スターターを閉じる

実行するアクションを選択したら、CopyToDVD スターターを閉じます。

サードパーティ製アプリケーション

[リセット] を押すと、サードパーティ製アプリケーションのダイアログ ボックスを再び表示するようになります。以前に [このアプリケーションを常に使用する] を選択していて、既定のアプリケーションを変更したい場合などに便利です。サードパーティ製アプリケーションのすべての一覧が表示されるようになるので、コンピュータにインストールされているアプリケーションを使用することができます。

CopyToDVD マネージャ

[全般] タブ

書き込み後

ステータス ウィンドウを閉じない

書き込み処理の間にログ ファイルを表示するステータス ウィンドウを閉じません。

メディアを取り出す

このオプションがチェックされていないと、書き込み完了後に CD/DVD が取り出されません。

VSO Inspector でメディアを検証する

書き込み完了後、VSO Inspector が即座に書き込んだメディアに読み込みエラーがないかスキャンします。バックアップ データの信頼性を検証するのに役立ちます。

ファイル ブラウザのオプション

ファイル ブラウザでサイズ情報カラーを使う

ファイルのサイズ容量を色別に表示します。

フォルダにサイズ情報カラーを使う

フォルダのサイズ容量を色別に表示します。

サブフォルダも含める

サブフォルダを含めたサイズ情報を表示します。このオプションを有効にすると CopyToDVD マネージャの起動がおそくなりますのでご注意ください。

イベント ログ

ログを保存する

このオプションがチェックされていると、CopyToDVD のログがファイルに保存されます。

ログの履歴を残す

このオプションがチェックされていると、新しいログがログ ファイルの先頭に書き込まれ、古いログが保持されます。オプションをチェックしていないと、古いログが新しいログで上書きされます。

ログ ファイル

ここで、ログ ファイルの名前とパスを指定することができます。

注意：ログ ファイルは、テクニカル サポートを受ける際に、問題を解決するための資料として必要になることがあります。

ログ ファイルの最大行数

指定した行数を越えると、古いログが消去されます。

[表示] タブ

CopyToDVD マネージャで情報ヒントを表示する

CopyToDVD マネージャでツールバーなどのツールヒントを表示します。

アドバンスト モード

アドバンスト ユーザー

書き込み処理の間、さらに詳細な情報を表示します。

ウィンドウを常に手前に表示する

書き込み処理の画面を他のウィンドウよりも前面に表示させるときにチェックします。

詳細を表示する

ログ ファイルのウィンドウを表示するので、書き込み処理の間の状況を見ることができます。

[ボリューム ラベル] タブ

ボリューム ラベルの設定を確認する

書き込み処理の前ごとに、CD/DVD のボリューム名（ラベル）の入力を要求されます。

次の名前を自動的に割り当てる

CopyToDVD がボリューム ラベルを自動的に設定します。次のオプションが使用できます：

- 固定：指定したテキストが毎回ボリューム ラベルとして使われます。（例：CDROM）
- 固定 + 日付：指定したテキストと現在の日付を結合します。（例：CDROM_20070831）
- 日付：現在の日付がボリューム ラベルとして使われます。（例：20070831）
- 元の名前：含まれているフォルダの名前がボリューム ラベルとして使われます。（例：DATA）
- 元の名前 + 日付：フォルダの名前と現在の日付を結合します。（例：DATA_20070831）

接頭辞

名前を自動的に割り当てる場合に利用する接頭辞を指定します。

[ファイル システム] タブ

ファイルがキャッシュ後に変更されたら警告する

このオプションがチェックされていると、ファイルがキャッシュ後に変更された場合に警告メッセージが表示されます。ファイルがキャッシュ後に変更されると、書き込み処理が失敗する可能性があるため、このオプションをチェックしておくことをお勧めします。

システム ファイルを含める

このオプションがチェックされていると、システム ファイルがメディアに書き込まれます。チェックを外している場合、システム ファイルは無視されます。

隠しファイルを含める

このオプションがチェックされていると、隠しファイルがメディアに書き込まれます。チェックを外している場合、隠しファイルは無視されます。

パス名を保持する

このオプションがチェックされていると、フォルダのフルパス名が保持されます。たとえば、C:\Data\Projects というフォルダを書き込むと、メディアには「Projects」というサブフォルダのある「Data」フォルダが含まれます。オプションをチェックしていないと、「Projects」フォルダのみメディアに書き込まれます。

メディア上のファイル システム

ISO 9660 (MS-DOS)

このフォーマットは、DOS で読み込み可能なメディアを作成します。

Joliet

このフォーマットは、長いファイル名 (Windows 95 以降) や全角文字を使用する場合に必要です。

注意: このオプションをチェックしていないと、長いファイル名は正しく書き込まれません。

UDF 1.02

このフォーマットは、非常にサイズの大きなファイルに必要となります。CopyToDVD マネージャのビデオ DVD プロジェクトを使用して DVD ムービーを書き込む場合は、このオプションが自動的に使われます。

CGMS

このオプションは、ビデオ DVD にのみ必要です。CopyToDVD マネージャのビデオ DVD プロジェクトを使用して DVD ムービーを書き込む場合は、このオプションが自動的に使われます。

ISO ファイル バージョン

このオプションがチェックされていると、ファイル バージョン (通常「;1」) が ISO 9660 ファイル フォーマットのために書き込まれます。

[バージョン情報] タブ

このタブに、CopyToDVD のバージョン番号が表示されます。また、CopyToDVD のライセンス キーを購入した場合は、ここでライセンス キーを入力することができます。

[書換型メディア] タブ

必要であれば、確認せずに書換型メディアを消去する

このオプションがチェックされていると、書換型メディアにデータが含まれているときに自動的に消去されません。

消去モード

- クイック: 書換型メディアの TOC のみ消去されます。(標準)
- 低速 (安全): 書換型メディアが完全に消去されます。(時間がかかることがあります)

[書き込みドライブ] タブ

マルチ ドライブを有効にする

同時に複数ドライブに書き込みを行う場合に、このオプションを有効にします。CopyToDVD マネージャ画面に [マルチドライブ] ボタンが表示され、このボタンを押すことで書き込みするドライブを選択することができます。

ドライブルISTに「ISO イメージ ファイル」を追加する

このオプションがチェックされていると、ファイルをメディアではなく、ISO イメージに書き込みます。ISO イメージは後で書き込みに使用したり、(Daemon Tools などを使用して) 仮想ドライブとしてマウントすることができます。

同じメディアのコピー作成を確認する

このオプションがチェックされていると、各書き込み処理の後に、同じプロジェクトをもう 1 枚書き込むかどうか、確認のメッセージが表示されます。

一時フォルダ

自動

このオプションがチェックされていると、CopyToDVD が一時ファイルの最適な場所を自動的に選択します。

手動

一時ファイルの場所を手動で指定します。

キャッシュ管理

キャッシュされるデータを指定することができます。書き込みの前に、キャッシュ目的で ISO イメージがハードディスク上に作成されます。十分な書き込み速度ではアクセスできないすべてのソースで、このオプションを選択することをお勧めします。

すべてのファイル

すべてのファイルが例外なくキャッシュされます。(低速なハードディスク向け)

ネットワーク上のファイル

ネットワーク ソースからのファイルがキャッシュされます。(既定値)

リムーバブル メディアのファイル

フロッピーディスク、CD-ROM、メモリ カードなどからのファイルがキャッシュされます。(既定値)

次のサイズよりも小さいファイル (KB 単位)

指定したサイズ (KB 単位) よりも小さいファイルが cashier されます。(既定値)

[マルチセッション] タブ

マルチセッション メディアの作成/続行

このオプションがチェックされていると、データ メディアがクローズされません。つまり、そのメディアに他のセッション (データやその他のファイル) を書き込むことができます。

消去可能なメディアを検出したら、消去を確認する

このオプションがチェックされていると、マルチセッション メディアを入れたときに、消去するかどうか確認のメッセージを表示します。

マルチセッション メディアが挿入されたときの動作

- 処理を確認する: マルチセッション メディアに書き込むときに、処理を確認するダイアログ ボックスが表示されます。
- メディアを取り出して、空のメディアを要求する: そのメディアに書き込まずに、空のメディアを要求します。
- 十分な空き領域があれば、データを書き込んで追記可能なままにする: 十分な空き領域が残っていれば、データがメディアに書き込まれ、さらにセッションを書き込めるようにメディアをクローズしません。
- 十分な空き領域があれば、データを書き込んでメディアを閉じる: 十分な空き領域があれば、データがメディアに書き込まれてクローズされます。これ以上はセッションを書き込めなくなります。

ボリューム名を保持する

このオプションがチェックされていると、古いセッションのボリューム名と説明が保持されます。

既存のデータを次の規則でインポートする

このオプションがチェックされていると、メディア上の既存のファイルが新しいセッションにインポートされません。

注意: このオプションがチェックされていないと、新しいセッションのファイルのみ残ります。

- ファイルが新しい場合やサイズが異なる場合に置き換える: メディア上に既にファイルが存在するとき、新しいファイルの方が新しかったりファイル サイズが異なる場合に、既存のバージョンが新しいフ

ファイルによって置き換えられます。

- ファイルを常に置き換える：既存のファイルが常に新しいバージョンのファイルによって置き換えられます。
- ファイルを置き換えない：メディア上に存在するファイルが保持されます。新しいファイルは無視されます。

[言語] タブ

このタブで、CopyToDVD のユーザー インターフェイスに表示される言語を選択することができます。この設定は、CopyToDVD マネージャでも使用されます。

注意：変更を有効にするには、CopyToDVD マネージャを再起動する必要があります。

[オーディオ] タブ

サウンドを自動的に調整する

オーディオ ファイルの音量が指定したデシベル レベルに自動的に調整されます。

サンプル サウンド

調整したレベルをテストするオーディオ ファイルを選択することができます。

オーディオトラック間の 2 秒のギャップを取り除く

通常の音楽 CD には、各トラック間に 2 秒間の無音のギャップが含まれていますが、このオプションをチェックすると、その 2 秒間のギャップが取り除かれます。

[書き込みドライブ] タブ

このオプションでは、CD/DVD ドライブと最大書き込み速度をあらかじめ設定したり、実行時にユーザーに選択させることができます。

オーディオ/データ

確認する

このオプションをチェックした場合は、オーディオ/データの書き込み時に書き込みするドライブを選択する画面を表示します。ドライブが 1 台しか搭載されていない場合は、確認画面は表示されません。

DVD ビデオ(miniDVD を含む)

確認する

このオプションをチェックした場合は、DVD ビデオの書き込み時に書き込みするドライブを選択する画面を表示します。ドライブが 1 台しか搭載されていない場合は、確認画面は表示されません。

書き込み速度の確認画面を表示する

書き込み時に書き込み速度を指定する場合は、このオプションを有効にします。

HD-BURN をサポートする

HD-BURN に対応したドライブの場合は HD-BURN をサポートします。

DVD-R SAO 優先

DVD-R 書き込み時に SAO を優先的に使用します。

既定の書き込み速度

このオプションでは、CD/DVD/Blu-ray ディスクの既定の書き込み速度を指定します。

[メディア情報] タブ

書き込み情報を VSO Software が収集するのを許可するオプションがあります。

[VSO Software によるメディアとドライブのデータ収集を許可する] オプションと有効にすると書き込み処理が完了するたびに、処理に関する情報（ソフトウェアのバージョン、使用したライティング ドライブとメディア、成功/失敗）がサーバーに転送されます。

※特定のコンピュータや個人を特定することのできる情報は一切収集されません。

[サウンド イベント] タブ

サウンド イベントを再生する

このタブで、CD/DVD を書き込んだ後に再生されるオーディオ ファイルを指定することができます。オプションをチェックしていないと、サウンドは再生されません。

よく寄せられる質問

使用するメディアの種類はどのくらい重要でしょうか。

使用されるメディアの種類 (DVD や CD) によって、書き込み結果に大きな違いが出ることがあります。現在市場には非常に多くのブランドの CD/DVD メディアがあり、そのメディアの品質があまり良くないことを暗に示す「チープメディア」と呼ばれているものも非常に簡単に見つけることができます。VSO Software は、メディア統計に関する情報とともに、メディアとドライブの互換性に関する情報も収集しています。VSO Inspector の [メディア] タブで [データベース照会] をクリックして、選択したドライブとメディアの成功率を参照することができます。

CD/DVD ライティング ドライブによっては、メディアの種類やブランドとの相性があるので、良いものを探しているときはメディアの種類やブランドにこだわることも必要になることがあります。

その他の情報: 片面二層式のメディアは片面一層のメディアよりも信頼性が劣ります。
+RW メディアは -RW メディアよりも一般的に信頼性が高くなります。
+R メディアは -R メディアよりも一般的に良質になります。

互換性

すべてのソフトウェアがすべての種類のメディアに対応しているわけではありません。CopyToDVD は、CD-R(W)、DVD-R(W)、DVD+R(W)、DVD-RAM のライティング ドライブに対応しており、最新の二層式メディア (9GB の DVD) にも対応しています。合計 25GB の情報を持つことのできる Blu-Ray メディアもありますが、ドライブが読み込みと書き込みに対応している必要があります。

R は、Recordable を表し、RW は ReWritable (メディアを消去して再使用することが可能) を表しています。

DVD-R/RW メディアは家庭用 DVD プレイヤーともっとも高い互換性を持ち、DVD+R/RW メディアよりも 5 ~ 10% 高い信頼性があります。これは恐らく市場における最初の種類のメディアであり、もっとも古い種類のメディアであるということに起因しています。

DVD メディアの詳細に関しては、次のページを参照してください: <http://www.videohelp.com/dvd>

CopyToDVD は単にこれらのフォーマットに対応しているというだけで、ライティング ドライブに使用しようとしているメディアに対応していなければ、書き込みは成功しません。

書き込んだ CD や DVD を再生するときにも同じことが言えます。メディア プレイヤーもそのメディアのフォーマットに対応している必要があります。

ライティング ドライブに関する注意事項

VSO Software は、Plextor 製ドライブがもっとも信頼性が高く、LiteOn 製ドライブが低価格でありながらそれに準じていると認識しています。ただ、最近のほとんどのドライブで完全に問題なく動作し、最新モデルが非常に頻繁に発売されています。

また、NEC 製ドライブが Samsung 製ドライブよりも優れていますが、フォーラムなどで実際のユーザーのフィードバックを参照したり、私たちのメディア統計をチェックすることをお勧めします。

また、CD ライティング ドライブは一般的に DVD に書き込みできませんが、DVD ライティング ドライブは一般的に CD にも書き込みできます。

二層式メディアと CopyToDVD

二層式メディアとは

二層式メディアとは、データを格納することのできる 2 つの層を持つメディアのことです。これらの 2 つの層は、メディアの同じ面にあります。最初のレイヤーは、その下にある 2 つ目のレイヤーの読み込みを可能にするために半透明になっています。二層式メディアは、通常の一層式メディアと比較して、2 倍の量のデータを保持することができます。これは、非常に長い映画などサイズの大きなデータを書き込もうとするときに大きなアドバンテージとなります。

二層式メディアを使用する場合は、互換性の問題に特に注意を払ってください。まず、メディアを書き込むのに使用するソフトウェアとともに、DVD ライティング ドライブが二層式メディアに対応している必要があります。すべての DVD プレイヤーは、二層式メディアを読み込むことを想定していますが、必ずしも読み込めるとは限りません。

二層式メディアを読み込む

二層式メディアを書き込むときに、書き込まれるデータのどの地点でもレイヤーの変更が行えます（このタイミングはコンテンツの中断地点やチャプタの区切りである必要はありません）。二層式メディアは、メディアを表示している間に、最初のレイヤーから 2 番目のレイヤーに切り替えるときにギャップが生じないことを保証していません。このギャップがまったく気付かないものになる可能性もあるし、1/10 秒あるいはそれ以上（最大 4 秒）のフリーズになる可能性もあります。これは、書き込む前の二層式メディアの設定やメディア プレイヤーに依存します。

CopyToDVD での二層式メディアの使用は、他の一層式メディアでの書き込みと何ら相違点はありません。レイヤーへの配置は CopyToDVD によって自動的に行われます。DVD プレイヤーで鑑賞するときに、レイヤー間の変更をほとんど意識しないようにすることを可能にするさまざまな基準に基づいて行われます。

Blu-ray

CopyToDVD 4 は、Blu-ray メディアに対応しています。もちろん、Blu-ray のライティング ドライブとメディアが必要となります。Blu-ray のデータ ディスクを書き込むことができるということは、25GB までのデータを書き込むことができるということになります。

テクニカル サポート

CopyToDVD の動作に問題が生じた場合や機能について知りたい場合は、まず

<http://www.panda.co.jp/copytodvd/support/> をご覧ください。こちらのページでは、CopyToDVD に関する最新情報をお届けしています。現在までに報告されている問題、頻繁にお受けするご質問に対する回答、使用上のヒントなどをご紹介します。是非ご確認ください。

これらを確認しても問題が解決されない場合は、ユーザー登録を完了した上で、下記の情報をご用意いただき、ピーアンドエー カスタマー サポートまでお問い合わせください。ユーザー登録を完了されていないと、サポートをお受けいたしかねますので、ご注意ください。お電話がつながりにくい場合もございますが、その場合はしばらく時間をおいてからおかけ直しいただくか、FAX またはサポートお問い合わせフォームにてお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。サポート電話番号以外の電話番号にお電話いただいてもおつながりできませんので、必ず下記の電話番号にお願い致します。

カスタマー サポート連絡先: 株式会社ピーアンドエー

電話: 042-525-9503 (祝祭日を除く月曜 - 金曜の 12:00 - 17:00 まで)

FAX : 042-525-9502

サポートお問い合わせフォーム: http://www.panda.co.jp/support/support_form.html

ご用意いただく情報

サポートを円滑に進めさせていただくため、以下の情報を必ずご用意ください:

CopyToDVD のバージョンとシリアル番号

お使いのコンピュータ: メーカー製の場合は、メーカー名と型番

使用 OS : 例) Windows XP Home Edition

CPU と RAM (メモリ) : 例) Pentium III 500MHz / 256 MB RAM

起動ドライブ (ハードディスク) の空き容量 : 例) C ドライブの空き容量が 30GB

ライティング ドライブ: メーカー名と型番、接続形式 (USB2.0、ATAPI 等)

お使いのメディアの種類: 例) XXX 社製 DVD-R メディア

具体的な症状: どういう操作を行ったらどうなったという形で。エラーメッセージが表示された場合はその内容

トラブルシューティング

CopyToDVD を使用する上で問題が発生した場合は、以下のチェックリストを参照して問題の要因を絞り込んでくだ

さい:

1) CopyToDVD の最新バージョンを使用していますか?

使用しているバージョンを確認するには、[CopyToDVD の設定] ダイアログ ボックスの [バージョン情報] タブを参照します。その後で、VSO Software ホームページ <http://www.vso-software.fr/> の右上に表示されている最新のバージョン番号を確認します。新しいバージョンのリリースには、より優れたソフトウェア、不具合の修正、全体の互換性の向上などが含まれています。そのため、常に最新のバージョンを使用されることをお勧めします。

2) エラーが発生した場合は、互換性の問題がないか確認します。メディアとドライブの互換性のほかに、ソフトウェアとハードウェア、ソフトウェアとメディアの互換性をそれぞれ確認してください。

3) ハードウェア (CD/DVD ライティング ドライブ) の最新のファームウェアを確認します。最新のファームウェアを確認するには、次のサイトなどで情報をチェックしてください: <http://www.cdrinfo.com> または <http://www.rpc1.org>

4) CopyToDVD や Blindwrite を使用するとき、「Patin Couffin が見つからないか、最新ではありません」または「ハードウェア アクセス レイヤーに接続できません」などのエラーが表示される場合は、次のことを行ってください: [スタート] メニューから、すべてのプログラム > VSO > CopyToDVD (または Blindwrite) > ドライブ から「削除」をクリックして、コンピュータを再起動します。

再び [スタート] メニューから同じグループをたどり、今度は「インストール」をクリックして、再度コンピュータを再起動します。

あるいは、ソフトウェア全体を再インストールしてください。

5) さらに詳しいチェックリストが必要な場合は、次のページ (英語) を参照してください:

<http://www.vso-software.fr/checklist.htm>

6) CopyToDVD サポートページ <http://www.panda.co.jp/copytodvd/support/index.html> や VSO Software ホームページの FAQ ページ <http://www.vso-software.fr/faq.htm> を確認します。

著作権

Copyright (C) 2003-2009 VSO-Software SARL, France. All rights reserved.

Windows® は、米国およびその他の国々において Microsoft Corporation の登録商標です。 All rights reserved.

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。